



学校教育目標

よく考え 進んで 学習する子 (知)
明るく 思いやりのある子 (徳) たくましく ねばり強い子 (体)

子ども像

みんなやる気を持ち、ものを大切に、理想に燃える子

学校像

拓かれた信頼される学校

教師像

1人1人が宮森小 熱意・努力・研究

社会に開かれ安心・安全で信頼される学校

教育基本法等関係法令
県・地区・うるま市教育施策
学習指導要領各教科等目標
地域の教育環境の変化
保護者の思いや願い、等

学校教育目標具現化の方策及び目標

児童一人一人に生きる力を身につけさせ、自ら学び、思いやりのある心豊かで、たくましい子を育てるため学校・地域・家庭がつながる

学校経営理念

子ども一人ひとりのよさや可能性を最大限に伸ばす。

「わたーわらび」の
学力保障
と
成長保障

経営の基本方針
安心・安全な場所を守る
質の高い学校教育
職能成長を実現

「学び合う
教職員」の
授業力向上
教科指導
学級経営

- 課題
- ①考え議論する 道徳科の授業づくり
 - ②体力の向上
 - ③地域教材の活用
 - ④言語環境 (読書含む)
 - ⑤人間関係調整力

危機管理
安全指導、IT 関連
不審者対策、災害対策

特別支援教育
◎指導計画と支援計画を踏まえた成長保障
◎特支学級と協力学級との連携 (特支ヘルパーの活用)
◎実践の共有
◎学びの保障 (低・高学年)

学力向上推進
◎宮森サイクル
◎学習規律
◎校内研修と連携
◎家庭学習
◎補習指導
◎体験的な活動

重点目標

・支持的風土のある学校・学年・学級経営を構築
・カリキュラムマネジメントを生かした「チーム学校」

(育成の趣旨)

子ども一人ひとりのよさや可能性を最大限に伸ばすために「認め・褒め・励ます」ことで自己肯定感を高める。

育成の視点
「個が育つ」学び合う学習
「宮森サイクル」学習

努力目標

- ◎教育課程の編成・実践・評価等によるカリキュラムマネジメントの確立を図る
- ◎「確かな学力」の向上をめざす指導方法・指導体制の充実を図る
- ◎子ども理解を充実させ、学年・学級経営を通して「自己肯定感」を育てる
- ◎個に応じたきめ細かな支援を図る教育相談及び特別支援教育の充実を図る
- ◎学校課題を意識した校内研修の充実を図る
- ◎幼小連携を促進するためのアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの工夫を図る
- ◎地域人材を活用した学校、家庭・地域の連携を図る

各種指導基本方針

- 児童理解・支援の姿勢に立ち、各種の指導の趣旨を生かす。
- 内容の関連性や指導の共有化を図る。
- 指導計画のもと教育実践にあたり、本校の「育てたい児童像」の育成を図る。そのため、関連する校務の連携と情報の共有化を図り、児童に適切な指導ができるよう務める。また、職員連絡会各種委員会等の話し合いを充実させる。

教育課程の編成・方針

- 教育基本法及び小学校学習指導要領総則に基づき
- 1 教頭と教務を中心に教育課程編成を計画的に行う。
 - 2 各種指導計画の見直し (目標や重点事項等の見直しと原稿の修正)
 - 3 組織 (校務分掌組織) の価値と確認を図る。
 - 4 教育目標の具現化のために組織的・系統的で具体的に実践を図る。

家庭・地域との連携 → 支えかかわり合う

- 1 授業参観・日曜参観日の充実
- 2 情報発信の充実
- 3 保護者・地域人材の活用

家庭教育

生活リズムの確立「早寝・早起き・朝ご飯」

マナーの育成・あいさつの習慣化

時間を大切にする